

プリューフバウ摩耗剥離試験機

(Dr. Dürner system)

prüfbau –Quartant Abrasion Tester

耐摩耗については、印刷物の適合性、カートンボール紙、カタログ、新聞、包装紙など幅広く測定が可能です。

それはある一定のインキ、紙、板紙、プラスチック、フォイル、スプレィパウダー、や湿気液体などの特性に影響されます。従いまして耐摩耗テストは、印刷機や印刷加工者、インキ製造業者、エンドユーザーに至るまで極めて重大なテストです。

プリューフバウ摩耗剥離試験機はハンディタイプで、価格もリーズナブルです。そして、客観性及び再現性のある耐摩耗テストを実施できる丈夫な機器です。印刷物の通常のストレスを想定した条件下でテスト結果をだせるよう設計されており、操作はシンプルで扱いやすくなっています。

テスト原理:

摩耗テストの実施中は、印刷物は非印刷片上で往復運動や回転運動を通して擦りつけられています。通常の工程条件と類似した摩擦は、主に往復運動によって引き起こされます。回転運動は、試験片全体にストレスをかけます。その運動はテストの間、リング状の摩擦痕の発生を防ぎます。従って、評価結果は容易です(別紙参照)。

オペレーティングプレッシャー及びスピードは、過度の剥離や通常の工程条件下では発生しない摩擦熱を防ぐために、慎重に低く保たれます。

シンプルオペレーション:

試験片(印刷物及び非印刷物)を試験機に取り付けます。紙やプラスチック、フォイルなど柔軟性のある材料の試験も板紙のような硬いもの同様の試験が可能です。

摩耗ストローク(擦りつける回数)の数は、オートマチックカウンターにてカウントできます。

再現性に優れた4部位動作:

この摩擦試験機は、4つのサンプルを同時にテストすることが可能です。この機器の特徴は、テストサンプルの再現測定を一度に実施できますので、テスト時間の短縮が可能です。

また、一度のテストによりテストサンプルが直接耐摩耗印刷物と比較できますので、実物との評価が可能です。

最適なサイズ:

摩擦剥離試験機は、四角形の試験片を用い、向きを変えて操作します。

例えば、プリーフバウ多目的プルーフプレスで印刷された重みのある印刷物そのままの大きさで直接試験に使用できます。この方法で、インキフィルム厚の比較テストを実施することができます。

テクニカルデータ:

摩擦圧:	0. 5N / cm ² (ISO Standard)
ストローク数: (ダブルストローク)	1 - 9999
試験片の最大厚:	3mm
試験片サイズ:	45 - 50 X 100 - 250mm
試験片の対照サイズ:	45mm φ
電気:	3相、4ワイヤー他 115-220V, 60Hz, 2A

07112002